

『中東現代文学選 2012』刊行にあたって

このたび、中東現代文学研究会編『中東現代文学選 2012』が刊行の運びとなりましたことは、研究会メンバー一同にとり、まことに大きな喜びです。中東の文学作品を日本語で、一人でも多くの方に読んでいただき、その魅力に触れてもらいたい。その一心で、この文学選は編まれました。450頁もの想定外の厚さになったのも、みな熱い思いの表れです。

この文学選には、トルコ、イラン、アラブはもちろんのこと、ボスニアやクルド、グルジア、ベルベル、イタリアのソマリア移民のイタリア語小説、フランスのマグレブ移民のフランス語小説など、実にさまざまな文学作品が収められています。本書を手にとられる方は、中東現代文学の多様性と同時に、〈中東〉を生きる人間たちの経験の多様性を実感されることでしょう。

当研究会は、2008年、イスラーム地域研究共同利用・共同研究拠点のひとつである京都大学拠点の拠点強化研究として「中東現代文学研究」が採択されたのを契機に発足しました。2009年1月に第1回研究会を開催して以来、中東現代文学の研究や翻訳に携わる者たちが年2回、集まり、研究会を重ねてまいりました。そして、今年度(2012年度)からは3か年の新たな研究プロジェクト(科学研究費補助金基盤研究(C)「中東現代文学における「ワタン(祖国)」表象とその分析」)もスタートしました。本文学選は、この4年間の私たちの活動の結実の一つであるとともに、プロジェクト初年度の活動成果の一つです。この文学選に力作を寄せてくださった研究会メンバーの皆さまはもちろんのこと、この間、さまざまな形で研究会を支えてくださった方々のすべてに、この場を借りて、心より御礼申し上げます。

中東現代文学の作品が今後、より広く日本で読まれるようになることを願ってやみません。この文学選がその一つの呼び水になれば、望外の幸せです。

2013年3月16日

中東現代文学研究会を代表して

岡 真理